

# 『企業の社会貢献活動の現場から』

地元企業の社会貢献活動をリレー方式で紹介する特集記事「企業の社会貢献活動の現場から」の連載を始めて8年。これまでに取り上げられた企業3社から、社会貢献活動の企画・運営に関わっている社員の方々をお招きし、パネルディスカッションを行いました。地元のみならず広い地域で活躍する企業の皆さんが取り組む活動とは？NPO法人とは異なる、企業ならではのボランティア活動についてうかがう絶好の機会となりました。

(この記事は2017年11月26日に開催したパネルディスカッションを要約したものです)

## ボランティアマインドの醸成

[ 株式会社デンソー ]



株式会社デンソー  
山田 昌代氏

山田 株式会社デンソー(以下デンソー)では、社員と地域が一丸となって社会問題を解決していけるようにと、1992年に社内にボランティア支援センターが設立されました。

センター設立当初はボランティア活動をする社員の高齢化と

いう悩みがあり、メンバーにも活動に対する意識の差がありました。そんな中、私たちは地域のニーズをキャッチして活動を地域に活かしていくことが重要だと気付き、ボランティアマインドをもつ社員に助けてもらおうと、「ハートフルフレンド」と称して募集を始めました。すると、積極的に地域と関わりたいという社員が200人ほど集まったんです。センターで働く私たち事務局員は、社員にしかできないこと、事務局でしかできないことの両面から、会社としてボランティア活動が継続可能な仕組みを構築しました。

社会貢献イベント「ハートフルまつり」を開催すると、一般の方が大勢来場されます。自発性・主体性・情熱・楽しさをキーワードに、若者の知的好奇心をくすぐるイベ



ントを企画、実施しています。

水谷 社員の方が休日にNPOを訪問し、交流の場を持っていると聞いています。仕事が休みの日にも自らの意志で積極的に行動しているというのは素晴らしいですね。

## スポーツ・文化活動の振興

[ 株式会社メニコン ]



株式会社メニコン  
埜田 詩乃氏



株式会社メニコン  
城戸 洋子氏

埜田 株式会社メニコン(以下メニコン)は、コンタクトレンズの製造・販売をしている会社で、社会貢献活動への取り組みとして人々の「見る楽しみ」をサポートしています。

例えば、スポーツ分野の取り組みでは、1995年から「メニコンカップ 日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)」というサッカーイベントへの協賛をさせていただいています。サッカーでは「アイコンタクト」が大切にされるため、コンタクトレンズメーカーとしてスポーツにおける視覚能力の大切さをお伝えするとともに、スポーツをする喜びを感じていただこうと23年間協賛を続けており、社員も毎年100人近くがボランティアとして参加し、運営をサポートしています。

文化活動での取り組みとして、ギャラリーとホールを兼ね備えた施設「メニコンANEX」を弊社の敷地内にオープンしました。コンサートや講演会など様々な用途に使え

パネリスト

株式会社デンソー  
山田 昌代氏

株式会社メニコン  
城戸 洋子氏・埜田 詩乃氏

ユニー株式会社  
百瀬 則子氏

コーディネーター

特定非営利活動法人ボラみみより情報局  
水谷 久美



る「HITOMIホール」は、「視ることから広がる感動をお伝えする」をコンセプトにした多目的ホールです。客席数が110席という小さな空間のためステージとの距離が近く、臨場感を味わうことができます。また、音の響きも非常に良いため、視覚と聴覚の両方でコンサートや講演をお楽しみいただけます。

これからもスポーツと文化の両方から視力の大切さについてお伝えしていきたいです。

水谷 視力や目に関連付けて社会貢献されているのですね。会社の長をを活かしながら社会貢献していくというのは、NPOの活動にもとても参考になります。

## ユニーは「地域のコミュニティーセンター」

[ ユニー株式会社 ]



ユニー株式会社  
百瀬 則子氏

百瀬 ユニー株式会社(以下ユニー)は、お客様が買い物しながら地球環境に役立つ活動ができるのではないかと考え、「環境に優しいお買い物は地球を救う」というコンセプトを掲げています。実はスーパーマーケット

は周辺地域に環境負荷を及ぼしています。店舗の空調や照明、食品売り場の冷蔵冷凍庫などではたくさんのエネルギーを使っています。また大型店では1日に2トン以上のゴミを排出し、それをいかに減少させるかリサイクルするかが、大きな課題となっています。そんな中、ユニーでは地域の環境を汚さないことや環境法令の遵守はもちろん、各店舗のバリアフリー化にも力を入れています。そして災害時の一時避難所としての役割も担っています。そのため、従業員がお客様を見守りながら声掛けができるオープンマインドの育成や、災害時に自分たちは一体何ができるのか考える力を日頃から身につけるよう心掛けています。

近年は高齢化で認知症の方が増えていることから、社員には認知症についての理解を深める教育をしています。従業員だけではなく、地域で見守るためにお客様を対象に認知症の理解を促すイベントも開催しています。他にも「環境に優しい商品」を知っていただくために、フェアトレードフェスティバルの開催や、買い物ついでに環境保全を学んでいただくイベント「エコ博」、大人から子どもまでが災害時に冷静に動けるように防災訓練イベント「あ

